

母子の命を救う 緊急食料支援にも ご協力ください!

アフガニстанは現在、干ばつや新型コロナウイルス感染症の影響に加え、政変により国際社会からの援助が滞り「過去最悪」といわれる飢餓状態にあります。

ジョイセフが支援するジャララバードの母子保健クリニックには連日、明日食べる物がない栄養失調の乳児や妊産婦が診療を受けに訪れています。

こうした状況を受け、ジョイセフは緊急の「食料支援パッケージ」配付のためのクラウドファンディングを立ち上げました。ぜひご支援をお願いします。



思い出の ランドセルギフト

日本での役割を終えたランドセルが
学校を再開したアフガニстанで活躍しています。

「アフガニстан政変後の危機」
思い出のランドセルギフト、
今こそ女子教育支援

ジョイセフは2004年から「思い出のランドセルギフト」という支援を続けています。日本で大切に使われたランドセルを、アフガニстанの子どもたちに届けるプロジェクトです。

これまでの18年間で約24万個を贈り、多くの子どもたちを応援してきました。女性の就学率が低いアフガニстанですが、ランドセルを受け取ることで人々の意識に変化が芽生え、女の子もランドセルを背負って学校へ通うのが一般的になった地域もあります。

2021年10月、タリバンによりアフガニстан全土が掌握されてから、初めてランドセルを配付しました。配付にはタリバンも立ち会い、公式に賛



緊急食料支援パッケージを受け取った家庭の様子(右)
クリニックで栄養指導を受け料理教室で食事をする幼児(左)

食料パッケージ 1セット(1万2,600円)の例*

小麦粉20kg・お茶1kg・料理油5ℓ・
砂糖7kg・豆3.5kg・洗濯石鹼12個・
手洗い石鹼6個とその配付関連費

*現地では1世帯(平均的な7人家族)が1ヵ月暮らすために必要な最低限の物資

クラウドファンディングの
詳細はこちら。

<https://readyfor.jp/projects/joicfp2021>



ランドセルの 寄贈方法



- 1 ランドセル1個につき1,800円の海外輸送費募金を振り込む
- 2 ランドセルを指定倉庫に送付する(送料は寄贈者負担)

詳細はジョイセフホームページ
(joicfp.or.jp/rand)で

国際協力NGO ジョイセフとは

ジョイセフは、世界の女性の命と健康を守るために活動している日本生まれの国際協力NGOです。1968年創立。国連、国際機関、現地のNGOや地域住民と連携し、アジアやアフリカで、保健分野の人材養成、物資支援、プロジェクトを通して生活向上等の支援を行っています。2018年4月、創立50周年を迎えました。

意を示しました。
タリバンの統治となった今こそ、男女平等の教育を象徴するランドセルを贈り続ける意味があります。ランドセルは「女の子も学校へ行くのが当然」というメッセージを伝えるツールとなるのです。